

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

月刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番
No.

99・8・13 5003

被爆54周年8・6ヒロシマ大行動



写真は会場に結集した二二〇〇名

再び戦争をくり返すなの声響く 広島・長崎・沖縄・アジアを むすび戦争と反動に反撃を

八・六ヒロシマ大行動は全国から二二〇〇名が広島県立総合体育館・武道場にあつまり、被爆54周年をむかえるなかでガイドライン体制化の反戦闘争として闘われました。労働千葉は、組合員・家族31名の代表団をこの大行動に派遣し、全国の仲間と共に闘いぬいてきました。代表団を派遣するにあたり、組合員の皆さんの派遣カンパのご協力に御礼申し上げます。

労働千葉の派遣団が会場の広島県総合体育館に到着するところ、会場前には入場をまつ長蛇の列がつづいていた。集会が始まる午後一時半には会場は満パイとなり、熱気につつまれたなかで集会は始まった。集会は「日の丸・君が代」攻撃と真正面から闘っている広島県教組、解同広島県連の役員の前で進められた。初めに開会のあいさつで北西充さん(百万人署名運動広島県連絡会代表)が「再び過ちを繰り返すな、ヒロシマ・ナガサキ・オキナワ・アジアをむすび少数であれ闘いぬこう」と訴えた。経過報告を栗原君子前参議院議員が行い、メッセーじ紹介ののち、反戦被爆者の会の下田礼子さんが被爆者の訴えを行った。

8・6広島大行動に参加して

津田沼支部

関 道利

今、国会では盗聴法から日の丸・君が代まで強行採決で法律化しようとしているなか、全国から二二〇〇人以上の仲間が決起し集まった意義は非常に大きいと思います。私個人としても今回は家族会参加という事で、女房・子供とともに参加し集会・デモを貫徹し原爆資料館などを見学したのですが、7才の子供でも少なくとも「原爆はダメ」という程度は、わかってくれたような気がします。何年か後にもう一度広島に連れて行くかと思っています。

最後に組合員の皆さん多大なカンパありがとうございました。

千葉機園区支部

清水 匠

これまで何回か広島に行きましたが、今回ほど戦争の切迫感と広島について考えさせられたことはなかった。原爆資料館には核兵器の悲惨な状況が展示されているが、窓から外を眺めると一見平和な光景が続いている。だが54年前は公園一帯は完全に破壊され尽くした死の世界であったことを考えると、核兵器を許せないという思いが強くなりあけてくる。しかもこうした戦争の悲惨な姿は、いまま中東やユゴなど各地で続いているだけでなく、朝鮮半島で起きようとしている姿でもある。ねばり強く闘わなければとあらためて感じました。最後にカンパありがとうございました。

つづいて「基地・安保とたたかうオキナワから」と題して知花昌一さんから沖縄の三氏が、さらに「全国のさまざまな立場から」西川重則さん(百万人署名運動事務局長)、中小路清雄さん(元日教組書記長)など三氏が連帯のあいさつを行った。「核と戦争、ガイドラインを許さないヒロシマ、『日の丸・君が代』強制に立ち向かうヒロシマから」として県高教組や解同広島県連など広島で闘う団体・個人九氏がヒロシマの闘う決

意を明らかにした。最後に「6ヒロシマ大行動アピ」を採択したあと、団結ガンを掲げて集会は終了した。参加者島平和公園まで市内の繁華街などをデモ行進し、戦争反対を叫び続けた。本集会は、ガイドライン情下で「日の丸・君が代」攻撃をはじめとした反動攻勢に抗して広島、長崎、沖縄などの闘いに一つに結び全国から結集して抜くという大きな成果がとられた。

労働千葉の創りあげよう！新しい世代の労働千葉が通用する時代の闘争を